

2026年6月

お取引先各位

オーミケンシ株式会社
代表取締役社長 高口 彰

サイバー攻撃によるシステム障害に関するご報告（続報）

平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

この度、当社がサイバー攻撃によるシステム障害を受けたことにつきまして、お取引先の皆様には多大なるご心配とご迷惑をお掛けしておりますことを、心より深くお詫び申し上げます。

本書面は、2026年4月21日付「サイバー攻撃によるシステム障害に関するご報告」に続き、その後の調査の進捗および現時点で判明している事実に基づき、改めて調査状況および当社の業務運営状況についてご報告申し上げます。

1. 本件の概要

2026年3月16日深夜、当社の社内ネットワークが外部の第三者による不正アクセスを受け、基幹システムの停止、およびサーバー上のファイルが暗号化される事象が発生いたしました。当社は直ちに社内ネットワークおよびインターネット回線を遮断するとともに、全社対策チームを設置し、外部専門家の協力のもとフォレンジック調査を実施してまいりました。当該フォレンジック調査は2026年6月12日までに完了し、調査結果の報告を受けております。警察にも報告・相談済みであり、当局への必要な報告も進めております。

本件については、2026年3月23日付および同4月13日付にて、当社ホームページ上で適時開示（IR情報）を公表しております。

2. 現時点の調査結果

外部専門家によるフォレンジック調査の結果、以下の事実が確認されました。

- ・ VPN 経由で当社ネットワークへの不正な接続が行われたこと

- ・ 攻撃者が社内のサーバーに侵入し、外部からの遠隔操作の経路を構築したと考えられること
- ・ 当社環境内の特定サーバーから外部のクラウドストレージサービスに対し、データ送信が行われたこと
- ・ ランサムウェアにより、複数のサーバー上のファイルが暗号化されたこと
- ・ 一部の NAS（ネットワーク接続型の記憶装置）において、共有フォルダ内のデータの削除等の被害が確認されたこと

なお、外部に送信されたデータの具体的な内容およびファイルの内訳につきましては、攻撃者による痕跡の消去等の影響により、現時点で特定には至っておりません。本フォレンジック調査の範囲では、現時点において、お取引先様およびそのお客様の情報が外部に送信されたことを直接裏付ける事実は確認されておりませんが、上記のとおり、外部に送信されたデータの具体的な内訳は特定に至っておりません。そのため、当社では、外部における公開・二次流通の有無について、ダークウェブ等を対象とした調査を実施しております。お取引先様に影響し得る新たな事実が確認された場合には、速やかにご報告申し上げます。

3. 現在の業務運営について

現在の業務につきましては、影響を受けたシステムからの波及防止措置を講じた上で、運営しております。お取引先の皆様におかれましては、引き続きお取引くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

4. 再発防止および今後の対応

本件を厳粛に受け止め、外部専門家の知見を踏まえ、再発防止に向けて以下の対策の実施・検討を進めてまいります。

- ・ 認証方式の見直しおよびアカウント管理の強化
- ・ サーバー間の通信および外部からのリモート接続に関する制御の見直し
- ・ セキュリティ監視体制の強化
- ・ バックアップおよび復旧体制の見直し

- ・ ログの取得・保全体制の整備

あわせて、外部における公開・二次流通の有無について、ダークウェブ等を対象とした調査を継続するとともに、お取引先様に影響し得る新たな事実が判明した場合には、速やかにご報告申し上げます。

引き続きご理解を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

【本件に関するお問合せ先】

オーミケンシ株式会社 対策チーム 06-6205-7300

(平日 9:00~17:00)

以上